

研究設備マスタープラン各種アンケートの概要

研究設備マスタープラン策定までの流れ

【研究設備マスタープラン案の作成】

1,000万円以上の研究設備を対象とした設備の更新・導入年度に関する配備計画。**個人アンケート**および**部局・施設アンケート**の2種のアンケートを実施。各アンケートの集計結果・評価に基づき設備の要望順位を決定する。本マスタープランは毎年度更新する。

研究者個人アンケート

*Google formによるインターネットアンケートにより実施

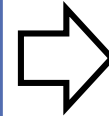
1次アンケート*
研究代表者が対象

目的：要望研究設備を設備グループに分類しリスト化



2次アンケート*
全学の教員が対象

目的：リスト化された研究設備に投票



共用設備基盤センターが
アンケート結果を集計※

目的：アンケート結果の評価と優先順位づけ



各種委員会を経て、学長
が決定する。

更新・新規導入する研究設備の最終
的順位付け

※集計結果の評価項目

1. 各設備の要求者数 (**必要性**)
2. コストパフォーマンス (購入価格/要求者数) と購入価格 (**経済性**)
3. 共用化区分 (全学共用、部局内共用、非共用 (専有)、機能強化) (**共用性**)
4. 中期目標・中期計画との整合性

部局・施設アンケート

文書によるアンケート
部局・施設が対象

- ・ 概算要求の対象となる設備も含める（所要額1千万～3億円程度）。

※集計結果の評価項目

- ・ **共用性**
- ・ **重要性**（中期目標・中期計画との整合性）
- ・ **緊急性**（法令、既存設備の老朽化など）

共用設備基盤センターが
アンケート結果を集計※

目的：アンケート結果の評価

要望設備のランキング

目的：アンケート結果の評価に基づく
ランキング

共用設備基盤センター運
営委員会で審議

目的：共用設備基盤センターの最終
ランキング案作成

大学研究委員会を経て、
学長が決定する。

更新・新規導入する研究設備の最終
的順位付け

【対象設備】

研究者個人アンケートでは対象とはなりにくい研究設備で、部局・施設の研究戦略上必要な設備、共用施設の運営に必要な設備、法令に基づき整備すべき設備を対象とする。教育を主たる目的とする設備と医療機械設備は対象としない。

平成32年度概算要求（基盤的設備）は本アンケートをもとに行う。

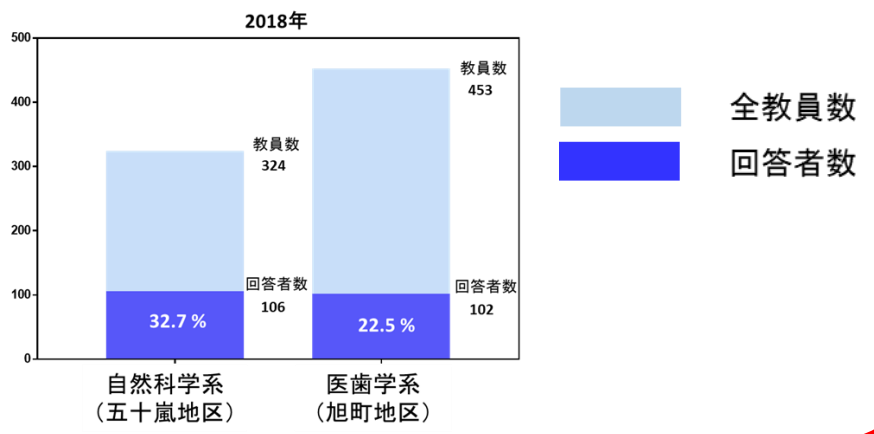
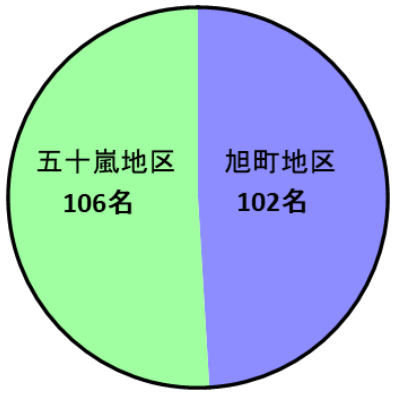
研究設備マスタープラン個人2次アンケート: 回答者数・回答率

回答者数 208名 **回答率 (全学) 26.8 %**

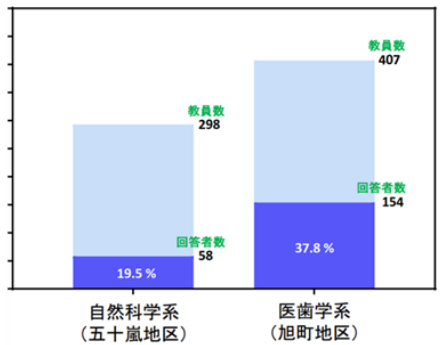
自然科学系+医歯学計教員数：777名

参考 平成29年度の回答者数 235名 回答率 32.2 %

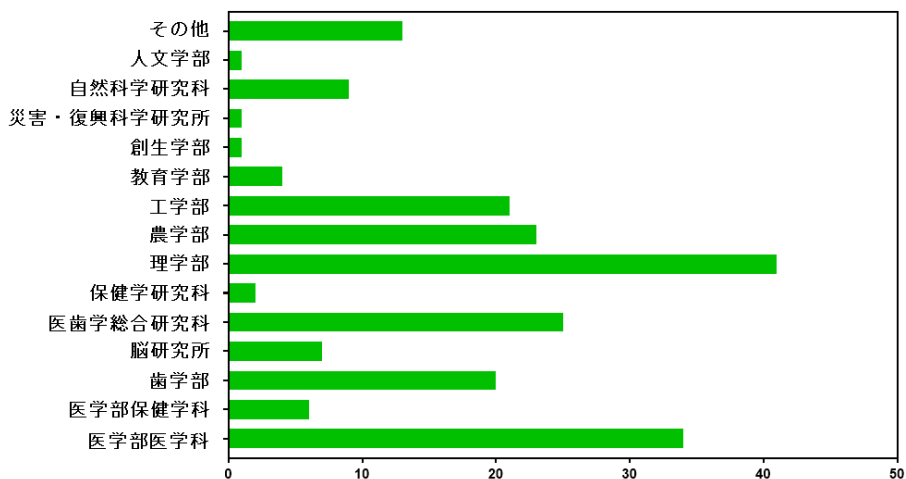
キャンパス別



参考 平成29年度



部局別



役職別

